

## 情報処理装置及びコンピュータ可読媒体

### 技術分野

本発明はスリープ機能及びレジューム機能を有する情報処理装置に関する。また、本発明はスリープ及びレジューム処理時の情報処理方法及びコンピュータ可読媒体に関する。

### 背景技術

近年、省エネルギーの考えが普及しており、パーソナルコンピュータなどのコンピュータシステムに代表される情報処理装置においては、その携帯性の向上などとともに、低電力消費を実現することが重要な課題となっている。この背景を受け、未使用時に一時的に消費電力を抑えることを可能にするスリープ機能（サスペンド機能と称することもある）を有する情報処理装置が普及している。

このスリープ機能は、システムの一部または全ての装置の電源を一時的に切るものである。全ての装置の電源を切る場合は、電源断要求時に、情報処理装置において動作しているオペレーティングシステム（OS）やアプリケーションソフトウェアの実行に必要な情報を主記憶装置から他の記憶装置に待避させて、主電源（システム電源）を断状態にする。

また、情報処理装置をスリープ状態から復帰させるためには、レジューム機能が必要である。このレジューム機能により、電源再投入時に、上記必要情報を回復することによって電源断要求直前の状態を瞬時に再現することができる。したがって、OS及びアプリケーションソフトウェアの起動や停止の操作が利用者（ユーザ）には不要であり、ユーザの操作性低下を招くことはない。

低電力消費を実現するスリープ状態では、情報処理装置を構成する多くのデバイスへの電力供給を停止するため、不揮発性の副記憶装置（フラッシュメモリ）や不揮発性の記憶媒体に揮発性の主記憶装置の情報（データを含む）を保存する。